

2. 市民力向上(市民学習・研修)事業

— 市民対象に多様な学習の機会として24コース、98講座を提供。のべ1,994人が受講。

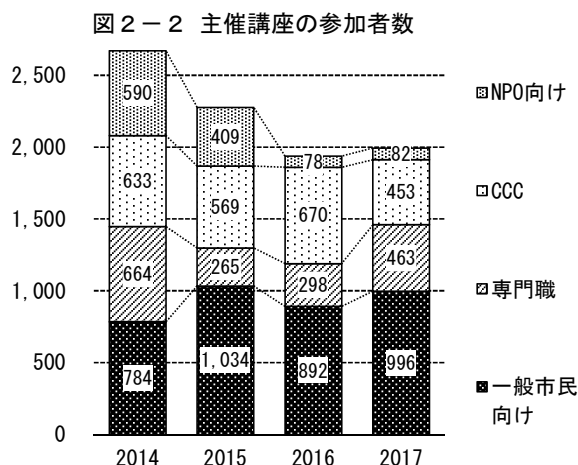
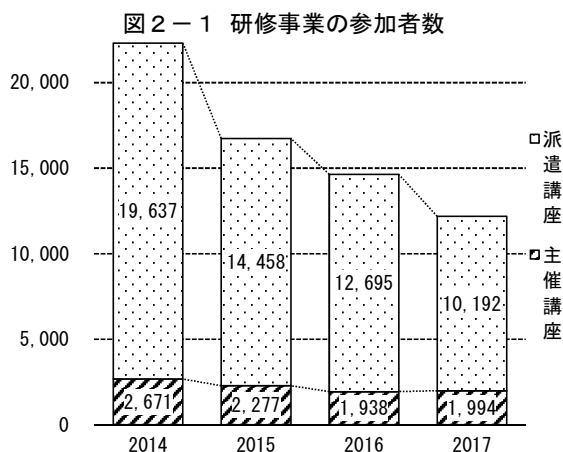
協会は、A.「一般市民向け」の講座、B.「NPO関係者」向け講座、C.市民活動推進の「専門職対象の講座」と、多様な講座を開講している。2017年度は、3形態、24コース、98講座を開講、のべ1,994人が受講した。

また、他団体が開催する講座などにのべ144人の講師を派遣、1万192人が受講した。

1. 研修事業の全体像

市民活動に関する協会の研修事業は、協会主催で各種の講座を開催するとともに、外部からの依頼に応え、講座企画・講師派遣という形で、全国各地で市民活動に関する講演活動(出前講座)を行っている。

その参加者数の推移を図2-1に、主催講座(事務局を担った共催講座を含む)の参加者(のべ人数)の推移を図2-2に示す。主催講座は、一般市民向けや専門職向けの新規講座を開催していることから参加者数は増加しているが、他団体と協働して取り組む講座等の参加者が伸び悩んでいることもあり、全体の参加者数は、前年度より56人増の微増となった。また講師派遣は、非常勤講師ができる職員の退職に伴い前年度より40件減となっているが、非常勤講師以外の講師派遣依頼は依頼件数、参加者数共に増加している。



2. 講座・研修会の開催

協会全体での主催講座数(事務局を担った共催講座を含む)は24コース(前年度比22件)、98講座(同83)。のべ参加者数は1,994人(同1,938)だった。以下、会場の記述がないものはすべて「CANVAS谷町」で開催。

【A. 一般市民向けの講座:「市民力」向上の取り組み】

(1)「定期総会記念講演会」の開催

定期総会記念講演会として、「ソーシャルアクションにつなげる～ブラック企業と若者支援から考える～」をテーマに実施した。

- ・日 時: 2017年5月21日(日) 10時30分～12時
- ・講 師: 今野晴貴氏(NPO法人POSSE代表) ・参加者: 52人

(2)「裁判員ACT2017 連続セミナー&公開学習会

「裁判員裁判から見えてくる社会的孤立とその課題」等の開催[NHK歳末たすけあい募金助成事業]

“裁判員ACT”裁判への市民参加を進める会チームでは、「ポスト50年『行動宣言』」を受けて、社会的孤立と司法の関係に焦点をあてた連続セミナー及び公開学習会を実施し、のべ102人が参加した。「犯罪はなぜ起きてしまうの」「犯罪者となった人は裁判の後はどうなるの」「どのように社会復帰していくの」という声に応え

るため、実際に起こった事件などから犯罪の原因を考え、社会の側がどのように取り組むべきなのかを考える場を提供。特に福祉関係者や司法関係者らから好評を得た。会場は全て市民活動スクエア「CANVAS谷町」会議室で、参加費は各回 1,000 円(全回参加の場合や協会個人会員は割引あり)。また参加者のうち希望する者へメール情報「ACT通信」の配信と、協会ブログや裁判員ACT公式 Facebook への同時情報掲載を行い、情報提供した。また裁判員裁判を傍聴する「傍聴カフェ」を毎月行っているが、チーム員兼弁護士が同行して解説を行う5・10・2月は、傍聴希望者を公募し、のべ66人が参加した。その他、学習会等参加者の次の参加の場として、ミニ学習会3回(4/29 社会的孤立の課題とは、7/29 市民感覚とは、2/15 検察官の話を書く)、裁判員・模擬裁判員経験者の聞き取り4回(10/26・11/29・1/31・3/7)、有志企画3回(6/7 関西テレビ取材、11/29 交野女子学院見学、1/21 司法ドキュメンタリー上映会&意見交換)などの場も提供した。

(連続セミナー第1回)「刑事事件から見える貧困～法律・制度を生活困窮者の味方に～」

・日時:2017年9月24日(日)14時～16時30分 ・講師:小久保哲郎氏(大阪弁護士会) ・参加者:37人

(連続セミナー第2回)「少年事件の裁判員裁判～裁判員は非行の背景にどこまで踏み込めるのか～」

・日時:2017年10月29日(日)14時～16時30分 ・講師:岩本朗氏(大阪弁護士会) ・参加者:32人

(公開学習会)「私たちは裁判員制度にどう向き合うか～裁判員経験者たちの思い～」

・日時:2017年12月3日(日)13時30分～17時 ・参加者:33人

・内容と講師:第1部「裁判員制度—その意義と裁判員の役割」、講師:笹倉香奈氏(甲南大学法学部教授)、第2部「裁判員経験者に聞く」、第3部「グループ討論」

(傍聴カフェ・公開分)

・(傍聴カフェ第13回)日時:2017年5月17日(水)・参加者:21人

・(傍聴カフェ第18回)日時:2017年10月3日(火)・参加者:20人、18日のフォローアップに6人参加

・(傍聴カフェ第22回)日時:2018年2月28日(水)・参加者:19人

(3)「はじめてのボランティア説明会」の開催〔大阪市委託事業〕

全33回。参加者:133人。詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

(4)「ウォロ特集連動企画」の開催

全2回。参加者:49人。詳細は第6章「情報提供・出版・市民シンクタンク事業」で報告。

(5)「SAVE JAPAN プロジェクト2017」 in 大阪の開催〔日本NPOセンター受託事業〕

47都道府県のNPOと市民、損保ジャパン日本興亜と一緒に、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクト。地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働で、市民参加型の屋外イベントを開催した。

「生き物も人も守ってる!

うつぼ公園の自然観察+防災ワークショップ」

・日時:2017年6月11日(日)9時30分～13時00分

・参加者:60人 ・場所:鞆公園(大阪市西区)

・主催・共催:鞆公園自然研究会、大阪自然史センター、なにわホネホネ団、大阪ボランティア協会

・協力・後援等:(認特)日本NPOセンター、(特)Co.to.ha.na、(特)日本森林ボランティア協会、
鞆連合振興町会、西船場連合振興町会、江戸堀連合振興町会、
鞆公園くらしとみどりネットワーク

・協賛:損害保険ジャパン日本興亜(株)



(6) 震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI2018」の開催協力

「3.11 from KANSAI2018～見えにくくなったこと、見えたこと～」を実行委員会制で開催

・参加者:205人。詳細は第4章「災害・復興支援、防災事業」で報告。

(7)「ボランティアリズム研究所」市民向け講座の開催〔NHK歳末たすけあい募金助成事業〕

①『「ボランティア・NPO・市民活動年表」を読む会」・・・・・・4回。のべ参加者:57人

②「市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程」・・・・・・5回。のべ参加者:118人

詳細は第6章「情報提供・出版・市民シンクタンク事業」で報告。

〔8〕「CANVASよるがく」の開催

ボランティア・NPOをもう一步深く知りたい方を対象に、金曜“夜”にCANVAS谷町に“寄る”まなび&つながりの場として、2017年9月から始めた。講師は、主に協会アソシエーターが得意なテーマでチャリティ講師として担い、2017年度はのべ160人の参加があった。長く協会から遠ざかっていた人が参加されたり、新たに協会会員になることにもつながっている。また、ゆるやかに自由に語らう場「CANVASカフェ」も、会員による自主企画として2016年度より第4金曜の夜に開催している。



回	テーマ	講師・話題提供者	日程	参加者数
第1夜	介護予防のナゾ～生活支援サービスってなに？	牧里每治	2017年9月22日(金)	17人
第2夜	じぶんの町を良くするしくみ～赤い羽根共同募金とは	永井美佳 小柴徳明	2017年10月13日(金)	12人
第3夜	モチベーション3.0～市民も職員もヤル気が沸き立つ組織作り	早瀬 昇	2017年10月20日(金)	10人
第4夜	日本語でつたえるコツ	藤原麻佐代	2017年10月27日(金)	10人
第5夜	社会で支える障害者の就労	上林康典	2017年11月17日(金)	40人
第6夜	NPOではたらく若手スタッフの本音	林 寛人	2017年12月8日(金)	10人
第7夜	NPOの基礎のキソ	梅田純平	2017年12月15日(金)	14人
第8夜	NPOのためのファンディング入門	早瀬 昇	2018年2月9日(金)	24人
第9夜	ボランティアに贈るコミュニケーション術	谷水美香	2018年3月9日(金)	10人
第10夜	コミュニティビジネスを考えてみよう	牧里每治	2018年3月16日(金)	13人

〔B. NPO関係者向けの講座:「組織力・経営力」向上の取り組み〕

〔1〕NPO入門研修(NPO法人設立・運営説明会シリーズ)〔NHK歳末たすけあい募金助成事業を一部活用〕

① NPO入門講座「はじめてのNPO説明会」

- ・開催日(個別): 2017年6月15日(水)、8月5日(土)、9月22日(金)、10月2日(月)
- ・参加者: 計5人(16年度2人/年2回) ・講師: 梅田純平(大阪ボランティア協会)
- ・内容: NPOとは? / 市民活動を組織化すること / NPOにとっての会員、役員とは

〔2〕その他のセミナー

① NPOの伝えるコツセミナー〔協力: NPO広報力向上委員会・日本NPOセンター・電通〕

NPOを対象に、団体のスローガンを作成、団体のイメージやアイデンティティの形成、信頼されるブランド作りを、NPO広報力向上委員会、(認特)日本NPOセンター、(株)電通の協力で実施した。

- ・日 時: 2018年2月4日(日) 13時00分～18時00分 ・参加者: 42人
- ・講師: 松井薫氏(株式会社電通 関西支社、JR西日本コミュニケーションズ執行役員・ソリューションセンター長(出向中))、尾崎敬久氏(株式会社電通 中部支社クリエティブ・ディレクター)



〔3〕伴走型支援プロジェクト実践フォーラム～ボランティア参加や寄付で社会課題解決を推進しよう～

〔平成29年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業〕

2017年度WAMの助成金事業で、大阪ボランティア協会職員ならびにボランティアによる支援チームが、NPO3団体の思いをより上手く社会に伝え課題解決の推進ができるように、共に議論を重ねる伴走型支援プロジェクトに取り組んだ3つの実践の報告を行った。

- ・日 時: 2018年3月13日(火) 18時00分～20時30分
- ・参加者: 35人
- ・場所: 市民活動スクエア「CANVAS(キャンパス)谷町」
- ・第1部「ソーシャルイノベーションを成功させるために～NPOのマーケティング～」長浜洋二氏((株)Publico)、WAM事業「社会的課題を解決するための市民参加型伴走支援プロジェクト」について、第2部「実践報告」コーディネーター: 長浜洋二氏((株)Publico)、実践報告者: (認特)大阪精神医療人権センター、(特)CAPセンター・JAPAN、(特)日本クリニックラウン協会



【C. 市民活動推進のための専門職養成講座】

〔1〕「ボランティアコーディネーター養成講座」(第43期)

新任ボランティアコーディネーター向け。“一日でボランティアコーディネーションが、わかる”共通基礎研修の後、施設・NPO・中間支援に分かれて事例をもとに意見交換した。(認特)日本ボランティアコーディネーター協会との共催。

- ・開催日：2017年7月8日(土) ・参加者：60人(のべ120人) ・会場：大阪府社会福祉会館
- ・講師：青山織衣氏(岸和田市社会福祉協議会)、岩本裕子氏(関西学院大学)、南多恵子氏(京都光華女子大学)

〔2〕「ボランティアコーディネーション力検定・直前研修」(3級・共催、1級・協力)

(認特)日本ボランティアコーディネーター協会が主催の上記検定の直前研修の共催や、試験監督に協力した。

①「3級検定直前研修」(共催)

- ・開催日：第23回=2017年6月24日(土)、第24回=2017年12月4日(日)
- ・参加者：第23回=58人、第24回=46人
- ・講師：第23回=永井美佳(大阪ボランティア協会)、加留部貴行氏(加留部貴行事務所AN-BAI)
第24回=岡村こず恵(大阪ボランティア協会)、青山織衣氏(岸和田市社会福祉協議会)

②「1級検定試験監督」(協力)

- ・開催日：2017年8月6日(日) ・試験監督：永井美佳(大阪ボランティア協会/1級合格)

〔3〕「施設・団体向け ボランティア募集のための入門講座」[大阪市受託事業]

- ・第1回参加者：3人 ・第2回参加者：11人 詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

〔4〕「元気になる会議 ホワイトボードミーティング入門」[大阪市受託事業]

ミーティングファシリテーションの技法を学ぶ講座を実施、26人が参加。詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

〔5〕公開研修「インクルーシブボランティア・事例から学ぶシリーズ①」[大阪市受託事業]

全1回。参加者：30人。詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

〔6〕「災害時に孤立する人を生み出さないために ～障害者・難病者、こども、外国人等の支援団体の備え～」 [大阪府福祉基金地域福祉振興助成金事業]

全1回。参加者：91人。詳細は第4章「災害・復興支援、防災事業」で報告。

〔7〕「ボランタリズム推進団体会議(通称：民ボラ) in 静岡」(第35回)

「ボランタリズム推進団体会議」の世話人として、第35回会議の企画運営に参画した。

- ・開催日：2017年6月17日(土)～18日(日) ・参加者：78人
- ・会場：静岡県総合社会福祉会館(静岡市葵区)
- ・内容：全体会「これからの歴史をさぐる～ボランタリズムのこれまでとこれから～」、分科会①「これからの中間支援組織に求められるコーディネート未来像」(協会担当分科会)、分科会②「ファンドレイジング(“志金”集め)×ファンドレイジング(仲間集め)=コレクティブ・インパクト!」、分科会③政治と市民活動の「いい関係」を考える、静岡方式①「図上訓練、みんなで『気づき、つながり、動く』ワケ」、静岡方式②「若者の就労支援を考える」、静岡方式③「労働界との連携によるセーフティネットづくり」、クロージング対談「これからの歴史をさぐる～共生社会への歩み～」

〔8〕企業担当者向け研修会の開催(第5章「企業市民活動推進センター事業」で詳細を報告)

- ①「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」・・・・・・6回。のべ参加者：270人
- ②「リンクアップ・フォーラム・自主ゼミ」・・・・・・0回。のべ参加者：0人
- ③「うめきた朝ガク」・・・・・・12回。のべ参加者：176人
- ④「はじめてのCSR・社会貢献講座」・・・・・・2回。のべ参加者：7人

3. 他団体主催講座等への講師派遣・委員派遣・視察等

(1) 講師派遣の実績

主催講座の一方で、協会では社会福祉協議会、NPO支援センター、行政、企業、市民団体など他団体が開催する「ボランティア講座」「ボランティアコーディネーター研修」「NPO運営セミナー」「協働研修」「CSR研修」などの講座に、職員などを講師として派遣している。

2017年度は199件(前年度239件)の派遣があった。その内訳は、調整の伴う講師派遣144件、協会への視察対応6件、非常勤講師49件で、派遣者は外部講師18件、職員88件、早瀬常務31件、CCC企画受託7件である。これらの講師派遣等での受講者数はのべ10,192人(同12,695)に達した。依頼内容は、図2-5に示すように、ボランティア全般に関する内容が最も多く、ボランティアコーディネーション、NPO運営、協働などの依頼も多い。2017年度は、特に職員の派遣件数が増加している。講師料についてもいねいに交渉し、単価も増加していることから、講師派遣収入は増加した。また、日程等の条件が合わずキャンセルとなった件数は15件(同13)で、依頼を受けたものはなるべく断らないように調整をした。

講師派遣は協会の重要な収入源となっており、そのPRのため、ウォロに広告を掲載した。

(2) 非常勤講師・委員派遣等の実績

依頼を受けて派遣する講師のほか、職員などが非常勤講師として、関西大学、龍谷大学、甲南女子大学、大阪経済大学などで、「NPOボランティア論」、「ボランティア・NPO論」、「プロジェクト・マネジメント論」、「ボランティア実習」などを担当している。また行政や社会福祉協議会、NPO支援センターなどから委員会、審議会、審査会などの各種委員等の派遣を行っており、2017年度は79件(前年度80件)の派遣があった(講師派遣実績には含めず)。協会事業やCANVAS谷町の運営等の視察対応は6件(同11)行った。視察は、特に韓国やタイなど海外からの依頼が昨年度から継続的に依頼があった。

図2-3 講師派遣:依頼団体属性

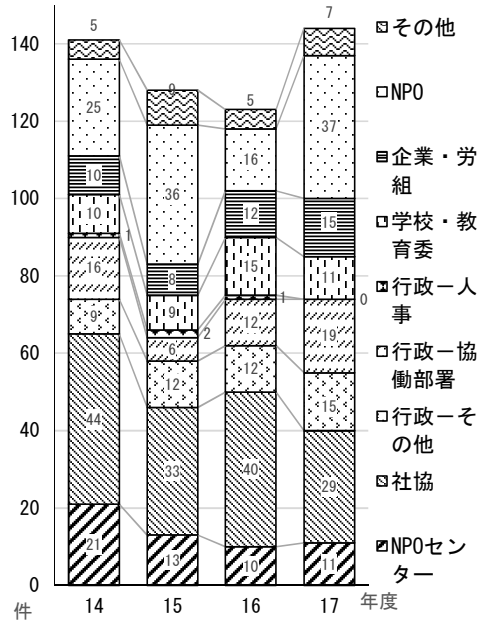


図2-4 講師派遣の派遣地域

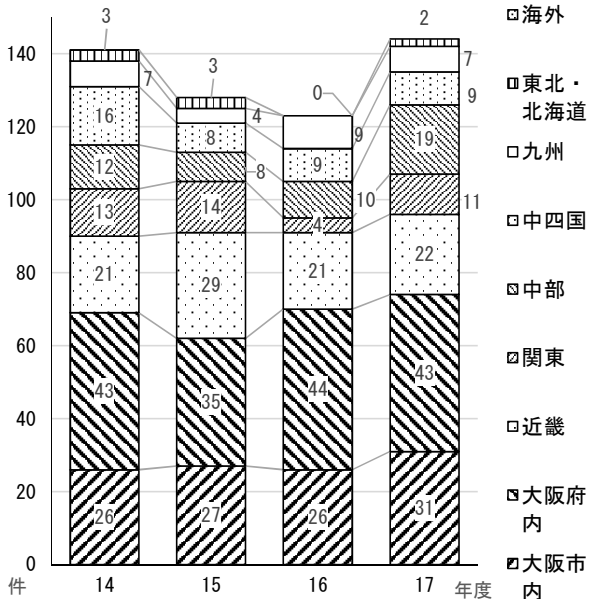
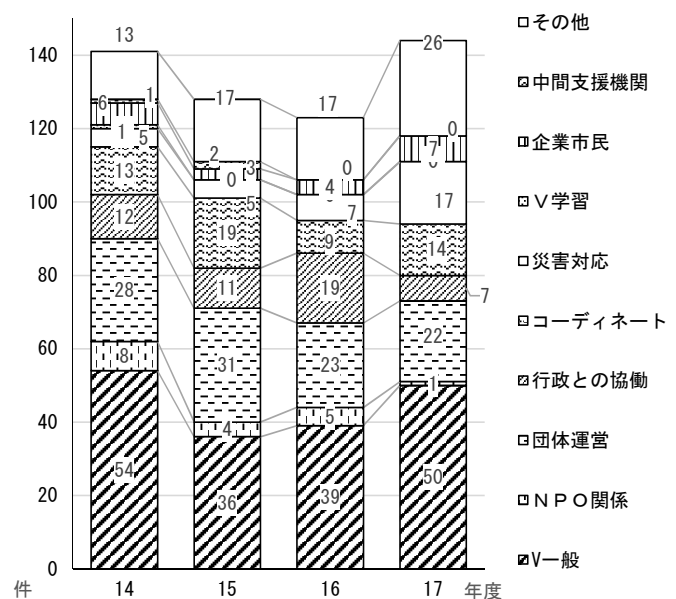


図2-5 派遣講座内容の推移



(3) チーム・委員会等が講師や講座企画相談に応じた実績**①元『日本語でつたえるコツ』広げる委員会』の出張ワークショップ開催実績**

多文化子育て支援ガイドブック『日本語でつたえるコツ』をテキストとして出張ワークショップを各地で開催。

- ・日 時：2017年6月22日(木) 10時40分～12時10分 ・出張先：甲南女子大学
- ：2017年7月19日(木) 15時30分～17時00分 ・出張先：大阪市立南小学校

(4) 大学の実習指導の受託

大阪経済大学人間科学部「ボランティア実習」の指導について、同大学より委託を受け2010年度より実施。2017年度は「ボランティアとは」「NPOとは」等の授業を行うとともに、6人の学生(30時間の活動)を4団体にコーディネートした。(実習先団体：(特)にしよどにこネット、にほんごサポートひまわり会、(特)フェリスモンテ、(特)SEAN)

2010年度より継続して受託してきたが、大学のカリキュラム変更があり、2017年度で終了となった。

(5) 研修生・インターンの受け入れ

2017年度に受け入れたインターンは下記の9人であった(研修生の受入はなし)。

①甲南女子大学「インターンシップ体験演習」の受け入れ

- ・氏 名：福本香織(甲南女子大学文学部3回生)、吉井迪瑠(甲南女子大学文学部3回生)、吉川七奈(甲南女子大学文学部3回生) ・期 間：2017年6月～2018年3月
- ・活動内容：「JAMBO!! RAFIKI!!～アフリカをもっと身近に～」イベント・絵本の企画立案、実施、制作

②情報誌『ウォロ』へのインターン受け入れ

- ・氏 名：野崎瑛海(大阪大学人間科学部3回生) ・期 間：2017年7月～12月
- ・活動内容：企画・取材・執筆業務

③就労移行支援事業所エンカレッジ大阪「インターンシップ」の受け入れ

- ・氏 名：豊田亮(エンカレッジ大阪) ・期 間：2017年6月～7月(12日間)
- ・活動内容：市民活動関連の新聞切り抜きのデータ化作業

- ・氏 名：新田晃世(エンカレッジ大阪) ・期 間：2017年8月、11月(6日間)
- ・活動内容：市民活動関連の新聞切り抜きのデータ化作業、事務入力作業

- ・氏 名：日吉峻澄(エンカレッジ大阪) ・期 間：2017年11月(4日間)
- ・活動内容：情報誌「ウォロ」発送作業、市民活動関連の新聞切り抜きのデータ化作業

- ・氏 名：渡邊明日夏(エンカレッジ大阪) ・期 間：2018年1月(5日間)
- ・活動内容：市民活動関連の新聞切り抜きのデータ化作業、事務入力作業、発送作業等

- ・氏 名：井上聖子(エンカレッジ大阪) ・期 間：2018年1月(3日間)
- ・活動内容：市民活動関連の新聞切り抜きのデータ化作業、事務入力作業等